

幼稚園&ベビークラス

フレックスイングリッシュコミュニティで

どのようなレッスンが
受講できるのかをご紹介します。

5ステップ学習法に沿って、
遊びだけではなく、学習として英語の認識度を上げていく。

5ステップ学習法とは・・・

こうすれば、話せる！読める！！

★5 ステップ教育法★

どのステップから始めるか、その子のレベルに応じて指導します。

ステップ1 ♪ (文字・発音)

アルファベットを完璧に憶える

ステップ2 ♪ (文字・発音)

簡単な**フォニックス**から

高度なものまで年齢に応じて暗記する

ステップ3 ♪

単語と慣用文型の丸暗記

インプットトレーニング(話)

ステップ4 ♪(話)

(おぼえた文型と単語を使って)

基本文型といろいろな動詞・名詞カードを使って

入れかえことば トレーニングで

自然な話し方を右脳に叩きこむ

ステップ5 ♪(文・話)

テキストを読み、**英語音声**を

毎日聞いてイントネーションや

文脈を脳がつかみ、無理なく自然に

自分で発言できるまでにする

このうち、ステップ4と5は
小学低学年(早い子で年長さん)から本格的に始めたいと思います。

何もしないでいると、通常は小学生高学年もしくは

中学生になるまで全くふれる事のない分野です。

フレックスでは徹底したカリキュラム重視のレッスンプログラムを個別またはグループレッスン毎にご用意しております。

行き当たりばったりでは最終的にどこまで教えたのか、教師自身が迷ってしまうからです。

人間の脳は0才~4才までに80%、

6才までに90%発達すると

いわれています。知能指数を伸ばすためには、

正に**幼児期**にこそ脳へのよい働きかけが

不可欠といえるでしょう。

まだ遅くはありません。

質のよい教材及び指導法にめぐり合えた子供たちは、
将来きっと親に感謝するでしょう。

これでも幼稚園児に英語はまだ無理？もったいない？

幼稚園クラスのお母様方、特に男の子をお持ちのお母様方は、
「うちの子は一体何をしているのか分からない。レッスンの間も落ち着きないし、

ほんとに英語なんて、身につけているのかな？」

というご質問をされることがよくあります。

正直言って、赤ちゃんは何にでも興味を示し、
面白いようにレッスンに引き込まれることが多いのですが、
幼稚園児の場合、本当にレッスンを見ていない、聞いていないように
見受けられるお子様がたくさんいらっしゃいます。

しかし、**耳の記憶が右脳に残り**、確実に積もっていきますので、

外国人から直接言葉をかけてもらえる環境

を作ってあげることがやはり一番大切です。

幼稚園から取り組めば、

勉強嫌いのお子様でも学校の授業で英語が始まるまでには、
英語に自信が持てるレベルに達しているでしょう。

そして、当校は

受験をにらんだカリキュラム作り

英語を話す事に特化した教材作り

それぞれを提案しています。お好きなレッスンをお選び頂けます。

日本には受験という、これを越えなければ社会に
負けてしまいかねない高いハードルがあるのです。

単語・単語・単語・熟語と口をすっぱくするほど言い続けています。
幼児期からはぐくまれた基礎にかなうものはないでしょう。

日本語と同じように、**やれば必ず身につくのが語学**です。

取り組みが早いほど、将来子どもの**意識的な力や努力以外**に、
その子自身の**脳が味方**をしてくれます。

それほど取り組んだ時間とは貴重なのです。

低年齢のうちに何をするのか？

日本語と同じように

将来右脳で理解できるようになる

基礎作りをすることがたいせつです。

右脳で理解できるということは、日本語と同じように

瞬時に理解できる

ということなのです。

日本語が完全に話せないこどもの脳には

英語を理解する事に、何の躊躇もありません。

英語は、

子音・母音の数や文法などが

日本語とは異なって

います。

漢文を思い出してください。区読点が付いているから理解できるものの、

日本語とは法則が全く違っていました。それが英語にも言えるのです。

更に英語は漢字ではないので、一つ一つの単語を覚える作業にも時間がかかります。

文法＝規則 そして物の名前である **単語** これらは

「話す為に絶対的に

暗記しなければならないもの」

この難解な、普段全く日本では必要としない英語の必須事項も
幼児期から経験をつんでいけば、
物心ついたときには自然と頭に入っています。

言葉とは、

**必要性があると信じる人から
順に理解していく**

ものだと思います。

そこで幼児期からの取り組みが、脳に確実に刻まれていくのです。

こどもは親がどのように

教育を与えるかによってその可能性は無限です。

自宅での英語学習について

自宅での取り組みも英語教育にはかかせません。

何しろ日本では、日常生活において英語に触れる時間が、
ほとんどと言っていいほどないからです。

そこで、レッスン前後 15 分間**毎回単語テスト**をご用意しております。

宿題も兼ねておりますので、無駄なくレッスンを行えます。